



日 口 交 流

発行 : 特定非営利活動法人 日口交流協会

E-mail:nichiro@nichiro.org

Home Page <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14 麻布台マンション401号

Tel : 03 (5563) 0626 Fax : 03 (5563) 0752



第19回日本文化交流団 (サハリン)

千葉 麻里

2019年5月30日(木)から6月3日(木)まで、ユジノサハリンスク、ドーリンスク、ホルムスク市にて「ロシアにおける日本年2018」の最後を飾る「日露文化芸術フェスティバル」2019に参加した。実は、2013年と2014年に訪れた際の反響が大きく、再訪を望む声が再三あったという。ユジノサハリンスク日本国総領事館から連絡があり、私たちはきもの、風呂敷、友禅の講習会をするために3名で参加することとなった。このフェスティバルには他に空手、踊り、太鼓や津軽三味線、アニメ音楽のグループ、ピアノ、ヴァイオリン、ドラムとハーモニカのカルテットなどの団体も参加していた。

私達は羽田から新千歳経由でサハリン入りをし夜にはホテルで州政府主催の歓迎レセプションを受けた。ロシア料理にバラライカ演奏や民族衣装の豪華なもてなしだった。

翌31日は、午前中市内観光後、州立民族芸術センターで開会式の入り口に立つ娘さんたちにきものを着付ける。美術館も以前訪れたときのままで、町並みは懐かしく感じられた。

6月1日、州立図書館で風呂敷講習会。ここからの熱烈なリクエストがあったそうで、会場は飾りつけがしてあり(ボールの代わりに風船を拝借)、椅子が足りないくらいに熱気があって進行もスムーズだった。図書館からドーリンスク市へ車で移動してきもの、友禅のマスタークラス。こちらも時間前に待っている人たちがいて人数は予定より多かった。きものデモンストレーションでは終了後も親子で質問に来て、きものに触れたり強い関心を持っていることが窺えた。友禅にも親子連れがいたが、父親が娘の描くのを温かく見守って伸び伸びと描かせていたのが感動的だった。男の子が一人、友禅の特徴にすぐに気づいて見事なボカシを駆使していたのに驚いた。

2日の朝、ホルムスクへ移動。市民会館には様々な民族衣装の人形や墨絵の展示があり、私達のフェスティバルの大き



なポスターも飾られていた。会場はまたすぐにいっぱいになり、机が狭くなった中で予備の教材もすべて使って行われた。風呂敷講習後の友禅には絵の先生も参加しており、新しい友禅のスタイルを見せられたようで、私達も勉強になった。最後に自分のサインを入れるためにみんなにそれぞれカタカナで紙に名前を書いてあげると、器用に真似て写していた。また、講習の合間には、美味しい紅茶と手作りの軽食を頂いた。

夜は総領事公邸で全員で打ち上げ夕食会。皆、それぞれ成果を上げてほっと一息、お互いに乾杯したり写真を撮ったりと賑やかな会になった。お世話になった有馬副領事、松本副領事とそして平野総領事と今後の交流活動継続を約束した。

今回は、有馬副領事は出発前に多くの団体との日程の調整、会場の写真や町の地図などの情報を送って下さった。また現地では終日付き添って、時にはこちらの我儘を聞いていただいた。ホルムスクとドーリンスクでは、私達一人ひとりに感謝状が用意されており、あちこちでカメラクルーの姿を見、インタビューも何度か受けた。町のいたるところにチラシが置かれ、ポスターも目に付いた。総領事館の通知が行き届いており、地元との関係が良好で密接であることがよく分かる。

ロシアの会社が手配した北海道から駆けつけてくれた私達の通訳、リンマさんはとても優秀で心配りが素晴らしかった。担当のエレーナさんも美術関係の仕事をしているだけあった。それぞれ担当者や同行者が相応しい人材が当てられたと思われる。また、他団体との交流ができたことも大きな収穫だ。総領事館の皆様、貴重な機会をいただき、通訳、担当の皆さん、熱心な現地の方々にも心から感謝いたします。(常任理事)

*以下のURLをご参照ください。

ユジノサハリンスク市：<https://sakhalin.info/news/171695>

ドーリンスク市：<https://sakhalin.info/news/171627>

https://yadi.sk/i/3CrUET_uQ_DNtQ